

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【公開番号】特開 2019-118749 (P2019-118749A)  
 【公開日】令和 1 年 7 月 22 日 (2019.7.22)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-029  
 【出願番号】特願 2018-2439 (P2018-2439)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 12 日 (2019.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体が特定領域を通過したことに基づいて、設定値に応じた特定制御を実行可能な遊技機であって、

設定値を変更可能であり、

設定値を変更するための設定変更制御の開始に対応して特定信号の出力を開始し、前記設定変更制御の終了に対応して前記特定信号の出力を停止し、

設定値を確認するための設定確認制御の開始に対応して前記特定信号の出力を開始し、前記設定確認制御の終了に対応して前記特定信号の出力を停止し、

前記設定変更制御に対応する前記特定信号の出力期間と前記設定確認制御に対応する前記特定信号の出力期間とのそれぞれの出力期間は、所定期間よりも長く、

前記設定変更制御が実行されている状態と前記設定確認制御が実行されている状態とのそれぞれの状態において、遊技媒体が前記特定領域を通過したときに前記特定制御が実行されない

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

特許文献 1 に示すように、複数段階の設定値を外部からの設定変更操作に基づいて変更する設定変更手段を備える遊技機が提案されている。また、特許文献 2 に示すように、主制御基板の外部出力端子から、「大当たり信号」等が出力される遊技機が提案されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

【特許文献 1】特開 2 0 1 0 - 2 0 0 9 0 2 号公報（段落 0 0 0 7）

【特許文献 2】特開 2 0 1 4 - 2 0 0 5 0 6 号公報（段落 0 1 0 2）

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

特許文献 1 に記載されたような遊技機に関しては、設定値に関連する制御の実行状況を、外部装置側で把握することが必要となる場合があるが、特許文献 2 に記載されている従来の遊技機の信号出力技術を適用しても、外部装置側でこれを把握することが困難であるという課題がある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、設定値に関連する制御の実行状況を、外部装置側で把握することが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

（ A ）上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

遊技媒体（例えば、遊技球）が特定領域を通過したことに基づいて、設定値（大当たり判定用乱数の範囲が異なる設定値 1 ～ 6 ）に応じた特定制御（特別図柄プロセス処理における大当たり判定処理等）を実行可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1 ）であって、

設定値を変更可能であり、

設定値を変更するための設定変更制御（設定変更モード）の開始に対応して特定信号（セキュリティ信号）の出力を開始し、前記設定変更制御の終了に対応して前記特定信号の出力を停止し、

設定値を確認するための設定確認制御（設定確認モード）の開始に対応して前記特定信号の出力を開始し、前記設定確認制御の終了に対応して前記特定信号の出力を停止し、

前記設定変更制御に対応する前記特定信号の出力期間と前記設定確認制御に対応する前記特定信号の出力期間とのそれぞれの出力期間は、所定期間（例えば 5 0 m s ）以上であり（例えば、設定変更モードに制御された場合、セキュリティ信号の出力期間は 3 0 秒以上であり、設定確認モードに制御された場合、セキュリティ信号の出力期間は 5 0 m s 以上である）、

前記設定変更制御が実行されている状態と前記設定確認制御が実行されている状態とのそれぞれの状態において、遊技媒体が前記特定領域を通過したときに前記特定制御が実行されない（例えば、設定変更モード又は設定確認モード中は始動入賞無効）。

このような構成によれば、設定変更制御又は設定確認制御に制御されていることを、遊技機の外部に適切に通知できる。

また、従来の遊技機として、特開 2 0 1 6 - 1 0 1 4 2 8 号公報で示されているような、リーチ演出の開始時に、リーチ演出の種類を報知するタイトル表示を行う遊技機がある。このような遊技機において、さらに演出効果を高めることが望まれている。

( 1 ) 上記目的を達成するため、他の態様に係る遊技機は、  
遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 ）であって、  
前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出（例えばリーチ演出）を実行可能な示唆演出実行手段（例えば演出制御用 C P U 1 2 0 ）と、  
前記示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段（例えば演出制御用 C P U 1 2 0 ）と、を備え、  
前記タイトル報知手段は、前記示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該示唆演出に対応したタイトルを報知可能である（例えば図 8 - 2 （ D ）、（ F ））。  
このような構成によれば、演出効果を高めることができる。